

2024年11月5日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

大分県信用農業協同組合連合会（以下、「当会」という。）は、県下 J A と一体となり、農業経済安定・向上を図る他、組合員の皆さま、地域の利用者の皆さまのため、高度化、複雑化する金融ニーズに対応し、安心・便利にご利用いただける J A バンクを目指し事業に取り組んでいます。

当会では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

大分県信用農業協同組合連合会

I.取組状況

1 お客様への最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- お客様に提供する商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、定められた会議体で適切に協議を行い、お客様の多様なニーズにお応えできるものを選定しております。また、いろいろな「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、お客様にとっての選びやすさも考慮し、一定の商品数に絞った「JAバンク セレクトファンド」をご用意しております。なお、当会は、金融商品の組成に携わっておりません。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2024年3月末時点）>

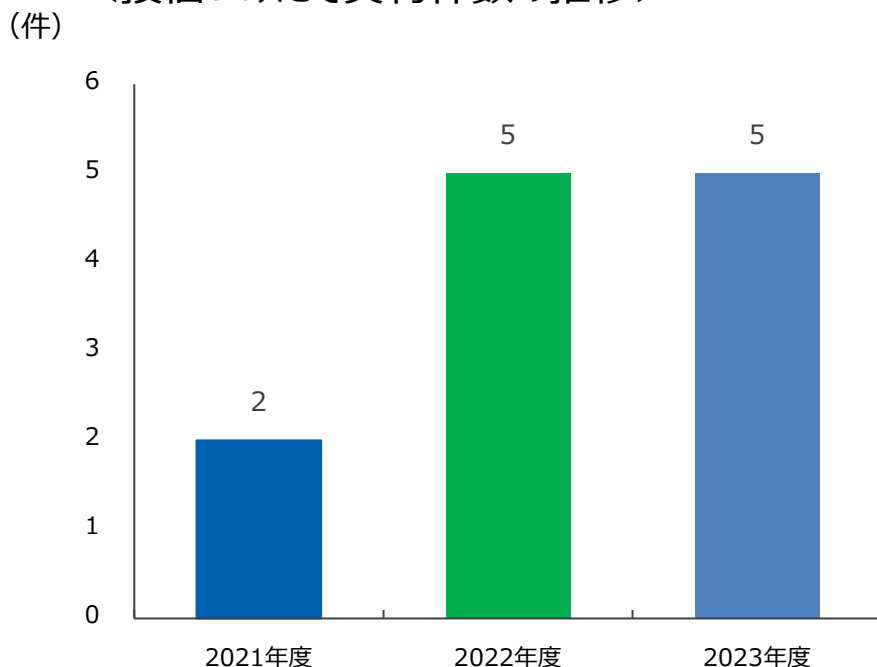
カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：3)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

I.取組状況

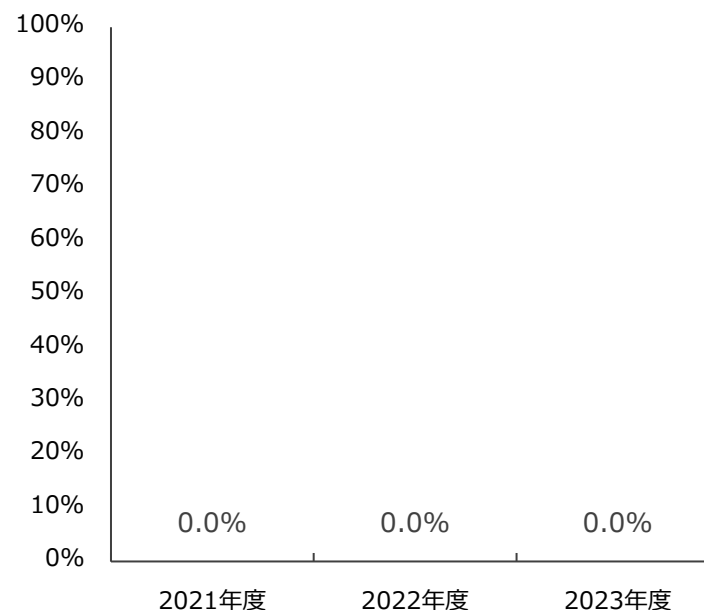
2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- 当会では、窓口販売を基本としており、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的を十分に確認のうえ、各商品の販売用資料等を基に対面での商品の説明を行い、適切な情報提供を行うとともに、お客様にふさわしい商品をご提案しております。また、高齢のお客様に対する提案時には、役席者を同席させ、厳格な適合性判定を実施しております。「投信つみたて」を利用されるお客様は横這い、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様は2024年3月末時点ではおられません。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I.取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について、「セレクトファンドマップ」等の提案資材を利用し、お客様と対話するうえで、分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供しております。
- なお、お客様にご負担いただく手数料について、お客様の投資判断に資するよう2022年4月から重要情報シート等を用い丁寧かつ分かりやすい説明に努めております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 当会では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。なお、利益相反の恐れがある取引について、以下のとおり類型化しております。

(a)お客さまと当会の間利益が相反する類型

- 優越的地位の濫用等
- 独占禁止法に抵触するおそれのある取引、または同法の趣旨に照らして、レピュテーションル(風評) リスクを発生させるおそれのある取引を行う場合

(b)当会の「お客さまと他のお客さま」との間利益が相反する類型

- グループ会社との取引に際し、アームズ・レングス・ルールに違反する場合
- 接待、贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合

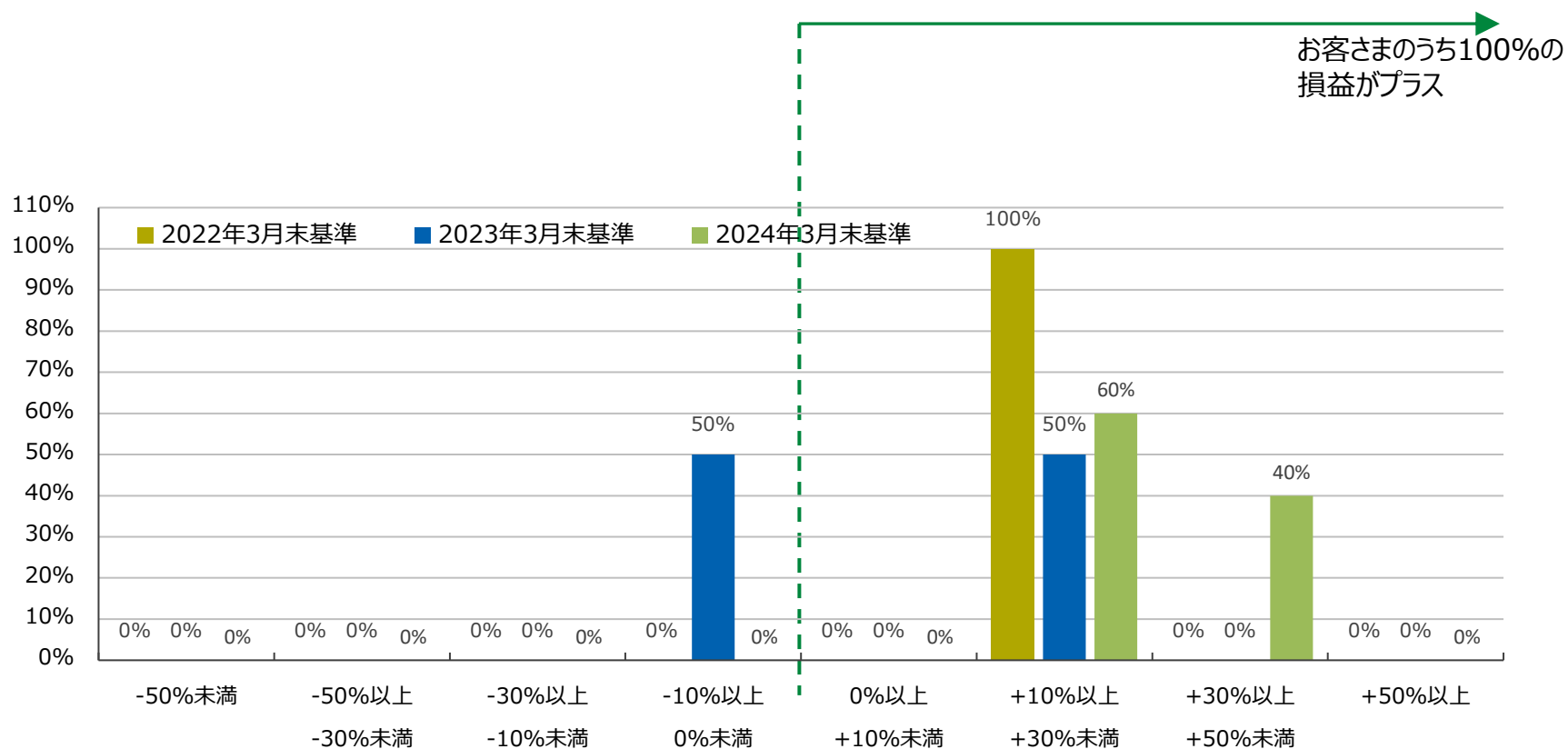
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

- 当会では、外務員・内部管理責任者・営業責任者業務の研修システムを利用したe-ラーニング受講や研修による指導、資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がプラスとなりました。

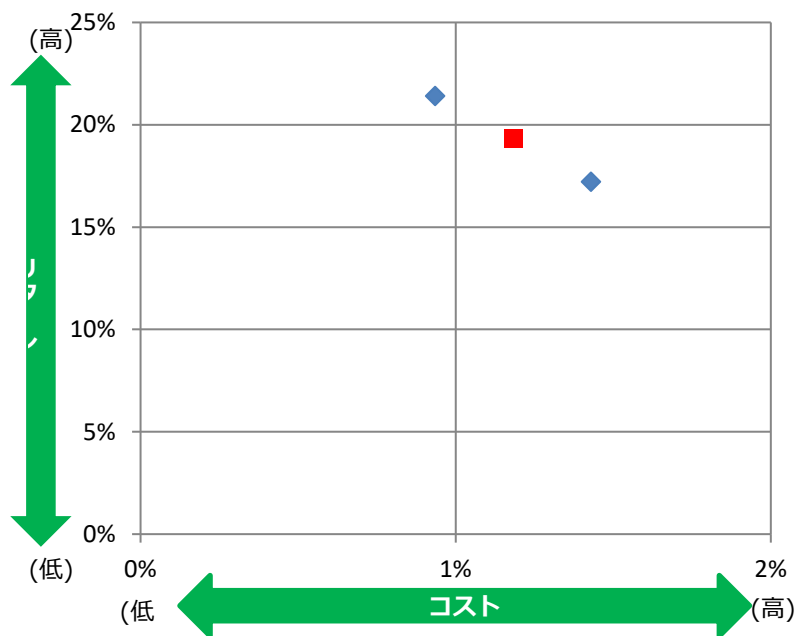


Ⅱ.比較可能な共通K P I

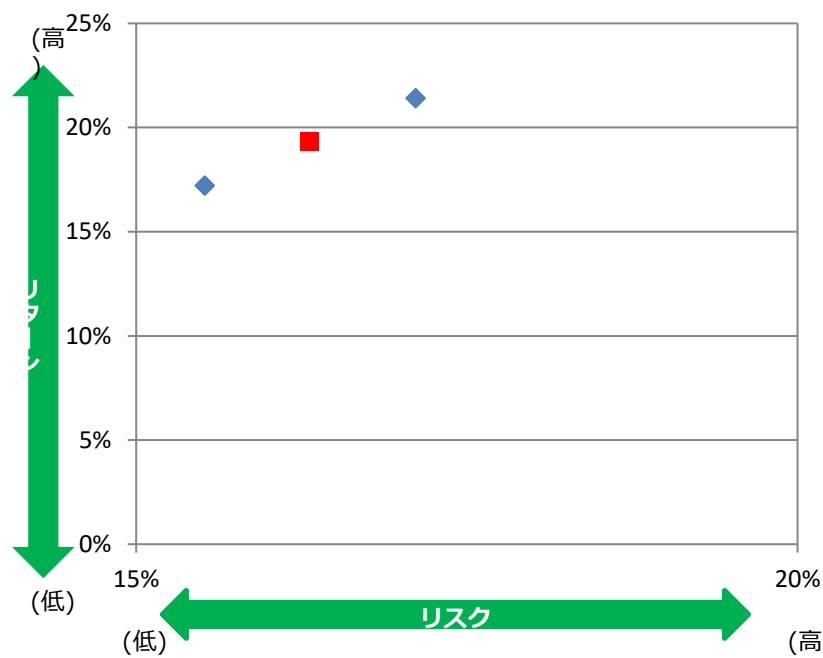
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

- 当会では、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.18%、平均リスク16.31%に対して、平均リターンは19.30%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		19.30%	16.31%	1.18%

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。